

## 平成16年度実績評価 事務事業進行管理表

事務事業名	農業集落排水事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目
部等名	水道環境部	課等名	下水道課	内線	5280	11	2	1	1	10	99
政策体系上の位置付け	政策	環境・循環型まちづくり			関連計画、条例等	田園環境整備マスタープラン、飯田市下水道整備基本計画、水質汚濁防止法・浄化槽法・農集排水条例					
	施策	自然環境の保全									
基本事業											
事業区分	政策的事業	新規、継続区分	継続								
事業期間	1年度～	21年度	環境調整会議の必要性	あり							

## 【D0】(1)この事務事業は、次の目的を達成することを目ざします。

目的の記述	対象 (人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値 (実績・現状)			
	・農業集落排水処理区域内の市民及び事業所が対象です。  ・市民皆水洗化のため、農業集落排水の施設整備を行い普及率を高めます。	農集排水処理区内の戸数(農集排水全体計画)(戸)	当初(15)	2472	17年度	2474
16年度			2474			
農集排水処理区内の人口(全体)(人)		当初(15)	12340	17年度	12340	
		16年度	12340			
成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位 普及率 = 接続可能な戸数 / 計画戸数 (%) (農集排水全体計画)		当初実績(15)	69.9	最終目標	100	
		16目標	91.8	16実績	91.8	
	17目標	91.8				
水洗化率 = 水洗化戸数 ÷ 接続可能戸数 (%)	当初実績(15)	86.1	最終目標	100		
	16目標	83	16実績	81.8		
	17目標	87				

## (2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	16年度の実績	飯田市下水道整備基本計画に基づき、農業集落排水の施設(処理場・管路等)を整備する事業です。 ・計画人口12,340人 ・計画管路延長=89,220m ・処理施設11箇所(農集9箇所・小規模2箇所) ・供用開始地区10箇所(農集8箇所・小規模2箇所) ・今後の計画 米川野池芋平地区 基本計画及び全体実施設計 H16 工事施工 H17～H21 供用開始 H21	・上久堅中央地区 水洗化率向上のため接続PRしました。(供用開始H15.4) ・更生太田地区 処理機能調整工事を実施しました。(供用開始H16.4) 水洗化率向上のため接続PRしました。 ・米川野池芋平地区 平成17年度工事着手のための基本設計及び 管路の全体実施設計を委託しました。 管路建設工事 L=349m実施しました。	管路の整備延長:m
・米川野池芋平地区 管路施設L=2,500mを整備します。 処理場の全体実施設計を委託します。			管路の整備延長:m	
17年度計画				

<金額の単位:千円>		16予算額	16決算額	17予算額
事業費	特定国庫支出金	23,230	23,230	131,300
	特定県支出金	187	187	0
	起債	19,800	19,800	124,900
	その他	3,637	3,695	13,490
	一般財源	2,193	1,450	910
	事業費計(A)	49,047	48,362	270,600
人件費	正規職員所要時間	4,000	4,000	3,000
	臨時職員等所要時間	0	0	0
	人件費計(B)	14,080	14,080	10,560
	トータルコスト A+B	63,127	62,442	281,160

特定財源内訳  
 ・汚水処理施設整備交付金(国) 1/2  
 ・下水道事業債(補助残0.9)(非補助0.95)  
 ・分担金 5%

## (3)この事業目的の達成は、次の上位(政策や基本事業)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 (この事務事業の上位目的)	上位成果指標(例:施策の成果指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・水洗化により快適な生活環境と水質の向上が図られます。	水洗化率(4手法全体) (%)	16目標	74	16実績	73.5
17目標			76.1			
龍江清水沢川の水質(BOD値)(mg/?)		16目標	2	16実績	1.1	
		17目標	1			

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
<p>・自然及び生活環境の改善に対する地元要望に基づき、平成元年度より地域の活性化を目的として、農集排事業を国補助事業で着手しました。</p>	<p>・国の補助政策が農集排事業 緊急整備事業 資源循環統合と変化しました。                      ・国庫補助は(処理場+管渠)×1/2から(処理場)×1/2と、さらに(処理場+管渠)×1/2へと変化し、県費補助は(処理場+管渠)×15% 10% 7.5% 3.75% 0%と変化しました。                      ・使用料金の定額制を不公平とする地元要望に基づいて、平成16年度より従量制とし、全市使用料金体系が統一になりました。                      ・H17から資源循環統合補助事業から汚水処理施設整備交付金事業(公共下水道、農集排事業、合併処理浄化槽による地域再生計画)に国の政策が変化しました。</p>	<p>・米川野池芋平地区より早期完成の強い要望があります。                      ・平成13年度説明時の計画戸数251戸から現時点の計画戸数206戸に45戸減っているが、1戸当たりの地元負担金が余り上がらないよう地元建設委員会から強い要望がありました。</p>

【 See (16年度の事業評価) 】

目的 妥当性 評価	意図の達成が、結果に結びつくか	(評価) 結びつく (その理由)	有効性 評価	成果(達成度)を向上させる余地はあるか?	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由)		廃止・休止した場合の影響は?	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性は?	(評価) 必要性がない (その理由)		類似事業の有無と統合の可能性(市以外の取組も含む)	(評価) 統合可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性は?	(評価) 必要ある (その理由)		効率性評価 成果を下げずに、事業費・人件費の削減は?	(評価) 可能 (その理由)
			公平性評価 受益者は誰か?負担の是非、程度は妥当か?	(評価) 妥当である (その理由)	

【 Plan(改革改善案) 】

今後の事業の方向性	事業の方向性の具体化 (何を、いつまでにどうするか改革改善案)	改革改善案実施の課題と克服方法
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	<p>・H16で処理場の基本設計及び管路の全体実施設計により、事業認可時点の総事業費より119,000千円削減の見込みで、この結果を踏まえた'H18の総事業費改訂及び予算要求'をH17.6.24までに作成し国へ提出します。</p>	
時期(年度) 21		